

令和5年度通常総会

日 時 令和5年5月31日（水）午後2時30分
会 場 城山ホテル鹿児島 クリスタルガーデン

公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部

総 会 次 第

1 開 会

2 会長挨拶

3 来賓挨拶

4 成立宣言

5 議長選出

6 議 事

(1) 議事録署名人選出

(2) 議 案

第 1 号議案 令和 4 年度事業報告及び決算について

(監 査 報 告)

第 2 号議案 事務所の移転について

7 報告事項

令和 5 年度事業計画及び収支予算について

8 閉 会

(休 憩)

◇ 講演会

演題 「100 年に一度の混乱の中で鹿児島が先駆けるには」

講師 株式会社日本政策投資銀行 南九州支店長 森正則氏

◇ プレゼンテーション

- ・ (株)九州ハイテック 「コンクリート床用コーティングシステムのご提案」
- ・ (株)フォーエバー 「小学校跡地を活用した I C T & 人材育成の拠点づくり」
- ・ 鹿児島県知財総合支援窓口 「知財を活用した支援事例」

◇ 交流パーティー

【第 1 号議案】 令和 4 年度事業報告(案)及び決算(案)について

〔事業報告〕

(公社)鹿児島県工業倶楽部は、異業種間の交流推進や、産学官のネットワーク化による企業の事業展開につながる支援、知的財産権に関する経営課題や経営戦略を一元的に受け入れる「知財総合支援窓口」での相談対応、さらには、工農水産連携による農林水産業や食品産業の成長・発展への支援など、本県産業の振興や地域経済の発展に貢献することを目的としている。

令和 4 年度の活動は、一昨年度・昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による大きな影響を受けた。工業倶楽部では、このかつてない環境変化に対し、各企業が現状を打破し、新分野展開など事業の再構築や、企業価値を高めることに貢献する情報提供を行うとともに、各委員会、研究会等では、会員が相互にプラスの利益を生み出すビジネスの多様なつながりを生み出す契機となるようなセミナーを開催した。テーマは、ポストコロナに向けたデジタル化の推進、SDGs、工農水産連携など企業の新たな挑戦を支援する内容で展開した。

11 月には鹿児島大学と主催する「第 12 回食と健康に関するシンポジウム」を開催し、「健康長寿に効く腸活とかごしまの食」をテーマとして、腸内細菌研究の第一人者である京都府立医科大学の内藤教授による「健康長寿を延ばす食と腸内細菌の関係」を基調講演として、また、地元鹿児島の食材の持つ機能等について、4 名の地元講師に講演をいただき、腸活を考え、地元食材を改めて見直すべく情報発信を図った。

また、農業分野へのアプローチに加え、新たに、水産分野との連携を目指すべく工農水産連携研究会において、「水産連携セミナー」を開催するなど新たな分野への取組促進を図った。

なお、一部の取組については、「ウェブ会議」の活用を図った。

年 2 回発行している会報誌については、会員企業以外への周知を図るべく、新たに、鹿児島銀行の本・支店の待合スペースに置いていただくこととなった。

さらに、鹿児島大学や国、県、県工業技術センター、(公財)かごしま産業支援センター、鹿児島工業高等専門学校、ベンチャープラザ鹿児島二水会等との連携強化を進め、産学官で交流とネットワーク化を図ることで、それぞれが持つ「知」の集積を異分野での活用の場に広げ、会員企業の新たな事業展開につながる場の提供に促進している。

[主要事業]

1 理事会

- (1) 令和3年度決算に係る監事監査(4/26)
- (2) 第1回正副会長会及び理事会の開催(4/28)
 - ① 令和3年度事業報告案及び決算案について
 - ② 役員改選について
 - ③ 令和4年度通常総会について
- (3) 第2回正副会長会及び第2回理事会を開催(6/1)
会長及び副会長の選出について
- (4) 第3回正副会長会及び第3回理事会を開催(10/28)
 - ① 入会の承認について
 - ② 新年大会について
 - ③ 研究会の名称変更について
(報告事項)
 - ① 職務執行状況報告について
 - ② 「第12回食と健康に関するシンポジウム」について
 - ③ 「第82回ベンチャープラザ鹿児島『二水会』」について
- (5) 第4回正副会長会及び第4回理事会を開催(3/28)
 - ① 入会の承認について
 - ② 令和5年度事業計画及び収支予算について
 - ③ 令和5年度総会について
 - ④ 産業会館廃止に伴う事務所の移転について

2 総会(6/1) 城山ホテル鹿児島

- ① 令和3年度事業報告及び決算の承認について
- ② 役員改選について
- ③ 令和4年度事業計画及び予算について
- ④ 講演会
演題「地域の中小企業等の『稼ぐ力』の創出・向上について」
講師 鹿児島県商工労働水産部長 平林 孝之氏
- ⑤ プレゼンテーション
 - ・吉元 寧氏((株)サナス開発研究部)
「サナス型食品リサイクルループの実現に向けて～サツマイモ基腐病に対する取り組み等について～」
 - ・門 久義氏(地域資源活用プラザ会長(鹿児島大学名誉教授))
「鹿児島大学と地元企業との連携事項」

- ・村田 秀博氏（上海金天知識産権代理有限公司日本事務所長）
「海外進出支援について 鹿児島県の国際化促進、海外販路拡大を目指して！」

3 第12回食と健康に関するシンポジウム

『健康長寿に効く腸活とかごしまの食』

- (1)日 時 令和4年11月22日（火）
- (2)場 所 鹿児島大学 稲盛会館 キミ&ケサ メモリアルホール
- (3)主 催 (公社)鹿児島県工業倶楽部、鹿児島大学産学・地域共創センター
- (4)内 容
基調講演：健康寿命を延ばす食と腸内細菌の関係
京都府立医科大学 大学院生体免疫栄養学 教授 内藤 裕二氏
講演1 鹿児島の暮らしに根差した郷土料理の力
NPO法人霧島食育研究会 理事長 千葉 しのぶ氏
講演2 GABAが豊富な伝統食～「山川漬」の秘密
鹿児島県工業技術センター 食品・化学部部長 安藤 義則氏
講演3 美味しいだけじゃない！鹿児島の食肉パワー!!
鹿児島大学 農学部 教授 大塚 彰氏
講演4 高機能・美味なかごしま茶を創る
鹿児島大学 農学部 教授 侯 徳興氏
- (5)参加人数 240名（うちオンライン140名）
- (6)後 援 九州経済産業局、鹿児島県、(独法)中小企業基盤整備機構南九事務局、(公財)かごしま産業支援センター、鹿児島市 ほか

4 知財総合支援窓口について

(1)令和4年度鹿児島県知財総合支援窓口の支援件数

支援項目 計画と実績	相談支援件数 合計 A	新規相談件数 (Aの内数)	普及啓発の 訪問企業数	臨時窓口の開設 (県工業技術センター等)	
				本 土	離 島
年間計画 (件)	2, 100	350	400	40回	12回
3月末実績 (件)	2, 403	461	565	55回	14回
進捗率 (%)	114	132	141	138	117

(2) 中小企業支援機関担当者連絡会議開催 (7/28, 3/17)

- ・九州経済産業局、I N P I T、県内の中小企業支援機関が出席し、中小企業の知的財産に関する事業、海外展開等に対する支援事例や実施事業について情報交換を行い、今後の連携支援の検討及び支援の高度化を図った。
- ・連絡会議とは別に、県商工会連合会、県中小企業団体中央会、県産業支援センター、J E T R O など個別に意見交換を行った。(4月～)

(3) 新聞への広告掲載 (知財の必要性のPR)

知財に親しみを持ってもらうため、漫画で記事の掲載を行った。

5 第 82、83 回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

新商品・サービス等の展開に当たって、業務提携先や販売先の確保、資金面のサポートなどの橋渡しの場を提供し、企業発展をサポートする。(主催：(公社)鹿児島県工業倶楽部、(公財)かごしま産業支援センター、(一社)九州ニュービジネス協議会鹿児島地域委員会)

(1) 第 82 回 (令和 4 年 11 月 9 日 (水)) ホテル・レクストン鹿児島

・ビジネスプラン発表

① ファーマーズサポート(株)(鹿児島市)

画像のAI解析技術を用いたスマート農業システムの提供

② (株)アイズ・カンパニー(奄美市)

競技用ウェアからトータルスポーツサポート事業戦略について

③ (株)システムビジョン(鹿児島市)

AIカメラを活用した外観検査のシステム構築で生産性向上、経費削減

(2) 第 83 回 (令和 5 年 2 月 8 日 (水)) ホテル・レクストン鹿児島

・ビジネスプラン発表

① (株)サナス

糖含有珪藻土を活用した持続可能な農業技術の実現に向けて

② Deep Focus

革新的パターでゴルフのもう一つの新しい景色を！

③ AMI 株式会社

心音図検査装置の紹介と遠隔医療の取組み

他

6 プラザ等の活動

異業種交流を旨とする当倶楽部の中心的活動であり、グループごとに自発的に例会を開催し、講演、情報交換などを実施。

プラザ、部会、委員会の実績は別紙のとおり

7 会報の発行

① 第70号（2022年7月）

（内容）総会、環境問題、新理事紹介、九州発明表彰、SDGs

② 第71号（2023年2月）

（内容）新年大会、活動（研究会、プラザ）、私と工業倶楽部、新会員情報

・鹿児島国体HPとバーコードでリンク

・今回より鹿児島銀行本・支店の窓口に1部設置（今後継続）

8 その他関連事業

（1）鹿児島大学との連携（工業倶楽部と鹿児島大学は包括連携協定締結）

・食と健康に関するシンポジウム（再掲）

・大学地域コンソーシアム鹿児島 地域連携・就業部会

・鹿児島大学工業倶楽部賞（令和4年度2名）

牧野暁世（鹿児島大学理工学研究科総合理工学専攻3年）

「景観まちづくりに向けた色彩計画に関する景観施策の展開のあり方の研究」

立尾清悟（鹿児島大学理工学研究科総合理工学専攻3年）

「成人T細胞白血病(ATL)に対する新規治療法の開発の研究」

（2）県教育庁との連携（インターンシップ事業講師派遣）

小中学校への会員企業（登録）による講師派遣

①日 時 令和5年2月9日（木） 14:05～15:40

②場 所 日置市立上市来中学校（1～2年）

③テーマ 「人は生まれたときから人生の経営者」

④講 師 地方産業経営研究所 田上康朗

（3）NPO法人鹿児島デザイン協会との連携

「かごしまデザインフェア 2023」

①日 時 令和5年2月17日（金）～2月20日（日）

②場 所 かごしま県民交流センター

◇ 活 動 実 施 状 況

令和4年 4月 8日	八日会を開催し、情報交換を実施
25日	84プラザを開催し、「企業経営とSDGs」と題して、経済産業省九州経済産業局総務企画部企画調整課 調査官 坂本 武史氏が講演 併せて同課平川課長より「事業再構築補助金」について紹介
5月24日	県商工労働水産部長、県教育長、鹿児島労働局長が事務局を訪問し、会長に対し、「来春卒業予定の高校生の県内就職促進に向けた要望書」を提出・要請
6月 1日	令和4年度 通常総会・理事会を城山ホテル鹿児島「ルビー」で開催 令和3年度の事業報告及び収支決算、役員改選、並びに令和4年度事業計画及び収支予算(案)等について審議を行い承認・可決された。 ・講演 「地域の中小企業等の「稼ぐ力」の創出・向上について」と題し、鹿児島県商工労働水産部長 平林 孝之氏が講演 ・プレゼンテーション 吉元 寧氏((株)サナス開発研究部)による「サナス型食品リサイクルループの実現に向けて～サツマイモ基腐病に対する取り組み等について～」、門久義氏(地域資源活用プラザ会長(鹿児島大学名誉教授))による「鹿児島大学と地元企業との連携事項」について、村田 秀博氏(上海金天知識産権代理有限公司日本事務所長)による「海外進出支援について 鹿児島の国際化促進、海外販路拡大を目指して!」と題して発表が行われた。 ※ コロナ禍により交流パーティは中止(弁当)
8日	八日会を開催し、情報交換を実施
15日	「食と健康に関するシンポジウム」打ち合わせ(第1回)
27日	「中小企業DX支援プラットフォーム連絡会議」参加(若手経営者プラザ)
27日	84プラザを開催し、「城山ホテル鹿児島のSDGs全員参加の挑戦」と題して、城山観光(株) SDGs推進室長 安川 あかね氏が講演
7月 5日	「食と健康に関するシンポジウム」打ち合わせ(第2回)
8日	八日会を開催し、情報交換を実施
28日	中小企業支援機関連携会議を開催し、関係機関における中小企業等に対する支援計画等について、情報交換を実施
8月 8日	八日会を開催し、情報交換を実施
9日	正副会長会議を開催
18日	「食と健康に関するシンポジウム」に関する打ち合わせ(第3回)
19日	「かごしまデザインフェア」実行委員会(第1回)
9月 7日	「かごしまデザインフェア」実行委員会(第2回)
8日	二水会開催に係る産業支援センター等との打ち合わせ(発表企業選定)

8日	八日会を開催し、情報交換を実施
9日	「水工連携セミナー」開催に向けた打ち合わせ（鹿児島県水産振興課）
13日	「食と健康に関するシンポジウム」に関する打ち合わせ（第4回）
18日	二水会企業発表リハーサル（第1回）
21日	二水会企業発表リハーサル（第2回）
22日	「水工連携セミナー」開催に向けた打ち合わせ（鹿児島県水産技術開発センター）
28日	知財関連の連携について、一般社団法人鹿児島県銀行協会と打ち合わせ
28日	84プラザを開催し「(株)ウィズとSDGs」と題して、(株)ウィズ鹿児島 代表取締役 久保田 吉信氏が講演
10月 7日	八日会を開催し、情報交換を実施
18日	二水会企業発表リハーサル（第3回）
20日	「かごしまデザインフェア」実行委員会（第3回）
21日	「水工連携セミナー」開催に向けた打ち合わせ（鹿児島大学水産学部）
21日	二水会企業発表リハーサル（第4回）
28日	正副会長委・理事会を開催し、上期の職務状況報告、また新規入会、新年大会、研究会の名称変更（「工農連携研究会」→「工農水産連携研究会」）を審議し、承認された。 県議会産業経済委員会、県商工労働水産部、工業倶楽部の合同懇談会を開催（7県議出席）
11月 7日	八日会を開催し、情報交換を実施
9日	「第82回ベンチャープラザ鹿児島二水会」をホテル・レクストン鹿児島で開催し、会員企業の（株）システムビジョンほか2社が発表
22日	「第12回食と健康に関するシンポジウム」を鹿児島大学稲盛会館 キミ&ケサ メモリアルホールで開催 「健康長寿に効く腸活とかごしまの食」をメインテーマとして、5つの講演会を開催した。 基調講演：健康寿命を延ばす食と腸内細菌の関係 京都府立医科大学 大学院医学研究科生体免疫栄養学 教授 内藤 裕二 講演1 鹿児島の暮らしに根差した郷土料理の力 NPO法人霧島食育研究会 理事長 千葉 しのぶ 講演2 GABAが豊富な伝統食～「山川漬」の秘密 鹿児島県工業技術センター 食品・化学部部長 安藤 義則 講演3 美味しいだけじゃない！鹿児島の食肉パワー!! 鹿児島大学 農学部 教授 大塚 彰 講演4 高機能・美味なかごしま茶を創る 鹿児島大学 農学部 教授 侯 徳興 モデレーター：鹿児島大学 企画・社会連携担当理事 岩井 久
12月 7日	84プラザを開催し「遠隔医療、オンライン診療モデル等への取組」と題して、AMI（株）事業企画部 執行役員 吉永 拓真氏が講演

8日	八日会を開催し、情報交換を実施
13日	正副会長会を開催
22日	水工連携セミナーをかごしま県民交流センター 大会議室で開催 「水産業の新展開に向けて-スマート水産業、養殖の視点から-」をテーマに、3名の講師によるセミナーを実施 特別講演：魚類養殖業の産業原理と新技術の可能性 鹿児島大学水産学部 教授 佐野 雅昭 講演1 スマート水産業の展開について 水産庁増殖推進部研究指導課（スマート水産業担当） 課長補佐 金子貴臣 講演2 鹿児島県における養殖業の現状 鹿児島県商工労働水産部水産振興課 技術補佐 徳永 成光
1月 5日	官公庁等への年始あいさつ（知事・副知事、鹿大学長 ほか）
19日	二水会企業発表リハーサル（第5回）
24日	二水会企業発表リハーサル（第6回）
27日	貿易部会、食産業部会合同例会をマークメイザン ユーティリティスタジオで開催 講演1. 世界の米粉事情～ドイツの事情を中心に～ 小城製粉(株)取締役 KOMÉKO GmbH（ドイツ法人） 小城 吉輝 講演2. アフリカにおける25年～暮らし・人・文化・業務～ 鹿児島県JICA派遣専門家連絡会会長 稲見 廣政
31日	令和5年新年大会を城山ホテル鹿児島「クリスタルガーデン」で開催 「鹿児島の中小企業の輸出促進策」と題し、九州経済産業局国際部長 藤原晋一氏が講演 プレゼンテーションとして、四元重美氏(NPO法人マンガプロジェクト鹿児島 理事長)による「無関心の客を魅了する漫画のチカラ」について、(株)ネクシィーズによる「設備投資支援を通じSDGsに貢献」について、(株)ボルテックスによる『「区分オフィス」による財務戦略』についてによる発表が行われた。 交流パーティを開催（知事ほか出席）
2月 7日	「九州各県工業団体事務局連絡会議」出席（沖縄開催）し、各県と意見交換を行った。
2月 8日	第83回ベンチャープラザ鹿児島二水会」をホテル・レクストン鹿児島で開催し、会員企業の(株)サナスほか2社が発表
9日	八日会を開催し、情報交換を実施
17日	「かごしまデザインフェア」を開催（19日まで） NPO法人鹿児島デザイン協会、県と連携して県民交流センターで開催
20日	84プラザを開催し「JALふるさとプロジェクトへの取組」と題して、日本航空(株)鹿児島支店長 久見木大介氏が講演

22日	「農業分野の知的財産」研修・情報交換会を開催 農業の「育成者権」の専門家である（公社）農林水産・食品産業技術振興協会イノベーション事業部 轟木良則氏を招き、鹿児島県農業開発総合センターにおいて、農業技術者を対象とした研修会を開催した。
3月 1日	産業支援コーディネーター等連絡会議出席（鹿児島大学）
8日	八日会を開催し、情報交換を実施
9日	宮崎銀行ふるさと振興助成事業表彰式出席（宮崎市）
13日	大学地域コンソーシアム鹿児島地域連携・就業部会出席（オンライン）
16日	令和4年度鹿児島県工業倶楽部賞受賞者激励会を実施
17日	中小企業支援機関連携会議を開催し、関係機関における中小企業等に対する支援計画等について、情報交換を実施
28日	正副会長会・理事会を開催し、令和5年度予算について審議し、承認された。

◇各種会合等一覧表

月	総会・理事会 正副会長会	委員会等	プラザ・部会・研究会・講演会等	計
令和 4年 4	正副会長会 理事会		八日会、84プラザ	4
5				—
6	正副会長会 通常総会 理事会	特命委員会	八日会、84プラザ	6
7		特命委員会 総務・広報委員会	八日会、中小企業支援機関連携会議	4
8	正副会長会	特命委員会	八日会	3
9		特命委員会	八日会、84プラザ	3
10	正副会長会 理事会	渉外委員会	八日会	4
11		特命委員会	八日会、ベンチャープラザ鹿児島「ニ水会」、 「第12回食と健康に関するシンポジウム」	4
12	正副会長会	事業委員会	84プラザ、八日会、水工連携セミナー(重複)	4
令和 5年 1		渉外委員会	貿易部会、食産業部会、新年大会	4
2		総務・広報委員会	八日会、ベンチャープラザ鹿児島「ニ水会」、 令和4年度九州各県工業団体事務局連絡会議 (沖縄県)、84プラザ、工農連携研究会(「農 業分野の知的財産」研修・情報交換会)	6
3	正副会長会 理事会	総務・広報委員会	中小企業支援機関連携会議	4

◇ 各委員会活動実績

委員会名	月 日	内 容	場 所
総務・広報委員会	7月	会報N o. 7 0 号を作成・発送	鹿児島県産業会館
	2月	会報N o. 7 1 号を作成・発送（本号より、新たに、鹿児島銀行の本・支店の待合スペースに1部設置）	鹿児島県産業会館
	3月	宮崎銀行ふるさと振興助成事業表彰式出席	宮崎市
渉外委員会	10月28日	県議会産業経済委員会、県商工労働水産部、工業倶楽部の合同懇談会を開催	ホテル中原別荘
	1月31日	新年大会において交流パーティを開催	城山ホテル鹿児島
特命委員会	6月15日	食と健康に関するシンポジウム 第1回 打合せ	鹿児島大学
	7月 5日	食と健康に関するシンポジウム 第2回 打合せ	鹿児島大学
	8月18日	食と健康に関するシンポジウム 第3回打合せ	鹿児島大学
	9月13日	食と健康に関するシンポジウム 第4回 打合せ	鹿児島大学
	11月22日	食と健康に関するシンポジウムを開催	鹿児島大学
事業委員会	12月22日	水工連携セミナーを開催	県民交流センター

◇ 各部会活動実績

部会名	月 日	内 容	場 所
貿易部会・食産業部会	1月27日	(1) 講演「世界の米粉事情～ドイツの事情を中心に～」 講師 小城製粉(株)取締役 KOMEKO GmbH（ドイツ法人） 小城 吉輝氏 (2) 講演「アフリカにおける25年～暮らし・人・文化・業務～」 講師 鹿児島県JICA派遣専門家連絡会 会長 稲見 廣政氏	マークメイザン

◇ プラザ活動実績

プラザ名	月 日	内 容	場 所
八日会	4月 8日	近況報告、情報交換	サンロイヤルホテル
	6月 8日	近況報告、情報交換	レクストン鹿児島
	7月 8日	近況報告、情報交換	鹿児島大 ウヰン ^テ マルシェ
	8月 8日	近況報告、情報交換	HIGH LINE
	9月 8日	近況報告、情報交換	サンロイヤルホテル
	10月 7日	近況報告、情報交換	城山ホテル ホ ル ト
	11月 7日	近況報告、情報交換	城山ホテル ホ ル ト
	12月 8日	近況報告、情報交換	城山ホテル ホ ル ト
	2月 9日	近況報告、情報交換	城山ホテル ホ ル ト
84 プラザ	4月25日	(1) 講演「企業経営とSDGs」 講師 経済産業省九州経済産業局総務企画部 企画調整課 調査官 坂本 武史氏 (2) 紹介「事業再構築補助金について」 同課 平川企画調整課長	マークメイザン
	6月27日	(1) 講演「城山ホテル鹿児島のSDGs全員参加の 挑戦」 講師 城山観光(株) SDGs推進室長 安川 あかね氏 (2) 質疑応答	マークメイザン
	9月28日	(1) 講演「(株)ウィズ鹿児島で取り組むSDGs」 講師 株式会社ウィズ鹿児島 代表取締役 久保田 吉信氏 (2) 質疑応答	マークメイザン
	12月 7日	(1) 講演「遠隔医療、オンライン診療モデル等への 取組」 講師 AMI株式会社 事業企画部 執行役員 吉永 拓真氏 (2) 質疑応答	マークメイザン

84 プラザ	2月20日	(1) 講演「JALふるさとプロジェクトへの取組」 講師 日本航空(株)鹿児島支店 支店長 久見木 大介氏 (2) 質疑応答	マークメイザン
若手経営者 プラザ	6月27日	県の主催する「中小企業DX支援プラットフォーム連絡会議」に会長が参加（オンライン）	マークメイザン

◇ 研究会活動実績

研究会名	月 日	内 容	場 所
工農水産 連携研究会	12月22日	水産連携セミナーを開催 「水産業の新展開に向けて-スマート水産業、養殖の視点から」をテーマに、セミナーを実施 特別講演：魚類養殖業の産業原理と新技術の可能性 鹿児島大学水産学部 教授 佐野 雅昭氏 講演1 スマート水産業の展開について 水産庁増殖推進部研究指導課 課長補佐 金子 貴臣氏 講演2 鹿児島県における養殖業の現状 鹿児島県商工労働水産部水産振興課 技術補佐 徳永 成光氏	かごしま 県民交流 センター 大会議室
	2月22日	「農業分野の知的財産」研修・情報交換会を開催 農業の「育成者権」と知財の相違点を中心に、(公社)農林水産・食品産業技術振興協会イノベーション事業部 轟木良則氏を招き、鹿児島県農業開発総合センターにおいて、農業技術者を対象とした研修会を開催した。	鹿児島県 農業開発総 合センター

(1-1) 貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,686,586	1,787,130	3,899,456
未収金	5,543,055	9,285,614	△ 3,742,559
流動資産合計	11,229,641	11,072,744	156,897
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	9,460,000	9,430,000	30,000
基本財産合計	9,460,000	9,430,000	30,000
(2) 特定資産			
委員会等活性化積立資産	677,489	0	677,489
特定資産合計	677,489	0	677,489
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
電話加入権	72,800	72,800	0
その他固定資産合計	72,801	72,801	0
固定資産合計	10,210,290	9,502,801	707,489
資産合計	21,439,931	20,575,545	864,386
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	3,500,000	4,000,000	△ 500,000
未払金	397,977	442,121	△ 44,144
預り金	310,033	211,119	98,914
前受会費	0	30,000	△ 30,000
未払消費税等	646,500	703,000	△ 56,500
流動負債合計	4,854,510	5,386,240	△ 531,730
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	4,854,510	5,386,240	△ 531,730
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本財産	0	0	0
特定資産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	16,585,421	15,189,305	1,396,116
(うち基本財産への充当額)	(9,460,000)	(9,430,000)	(30,000)
(うち特定財産への充当額)	(677,489)	(0)	(677,489)
一般正味財産合計	16,585,421	15,189,305	1,396,116
正味財産合計	16,585,421	15,189,305	1,396,116
負債及び正味財産合計	21,439,931	20,575,545	864,386

(2-1) 正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年	前 年	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産利息収入	186	176	10
② 特定資産運用益			
特定資産利息収入	0	3	△ 3
③ 受取入会金			
入会金	30,000	150,000	△ 120,000
④ 受取会費	9,925,000	10,222,500	△ 297,500
正会員	8,525,000	8,822,500	△ 297,500
10,000円×41会員	410,000	460,000	△ 50,000
30,000円×40会員	1,200,000	1,230,000	△ 30,000
55,000円×15会員	825,000	825,000	0
80,000円×35会員	2,800,000	2,720,000	80,000
105,000円×13会員	1,365,000	1,365,000	0
130,000円×5会員	650,000	650,000	0
155,000円×8会員	1,240,000	1,395,000	△ 155,000
新規会員×3会員	35,000	177,500	△ 142,500
計160会員	0		
賛助会員会費	1,400,000	1,400,000	0
100,000円×10会員	1,000,000	1,000,000	0
200,000円×2会員	400,000	400,000	0
計12会員			
⑤ 受取補助金	700,000	900,000	△ 200,000
令和4年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	200,000	0
第41回宮崎銀行ふるさと振興助成事業助成金	500,000	0	500,000
特定求職者雇用開発助成金	0	700,000	△ 700,000
⑥ 受取負担金	469,000	0	469,000
新年大会懇談会負担金	469,000	0	469,000
⑦ 事業収入			
知財総合支援窓口運営業務	29,707,003	30,929,824	△ 1,222,821
⑧ 雑収益	32,252	100,062	△ 67,810
経常収益計	40,863,441	42,302,565	△ 1,439,124

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科目	当	年	度	前	年	度	増	減
(2) 経常費用								
① 事業費				19,724,135	20,686,893		△	962,758
給料手当				9,661,335	9,835,690		△	174,355
賃料				904,950	1,556,555		△	651,605
福利厚生費				1,573,412	1,531,713			41,699
表彰費				30,760	31,740		△	980
旅費交通費				1,278,117	1,014,623			263,494
通信運搬費				555,499	541,331			14,168
消耗品費				630,752	663,826		△	33,074
印刷製本費				315,577	385,440		△	69,863
会議費				696,305	151,953			544,352
賃借料				1,691,875	2,313,735		△	621,860
支払負担金				224,000	224,000			0
広告料				542,500	788,920		△	246,420
支払利息				22,286	45,269		△	22,983
租税公課				1,373,900	1,429,550		△	55,650
雑費				222,867	172,548			50,319
② 管理費				19,743,190	20,339,717		△	596,527
給料手当				15,069,682	15,642,846		△	573,164
福利厚生費				2,087,948	2,116,259		△	28,311
退職金掛金				288,000	288,000			0
退職金				0	57,360		△	57,360
旅費交通費				102,267	44,190			58,077
通信運搬費				279,994	288,942		△	8,948
消耗品費				391,071	390,864			207
印刷製本費				267,190	354,200		△	87,010
諸謝金				53,411	0			53,411
賃借料				1,041,368	822,780			218,588
広告料				0	10,000		△	10,000
租税公課				1,200	5,900		△	4,700
雑費				161,059	318,376		△	157,317
公益目的事業費振替額				0	0			0
経常費用計				39,467,325	41,026,610		△	1,559,285
当期経常増減額				1,396,116	1,275,955			120,161
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計				0	0			0
(2) 経常外費用								
経常外費用計				0	0			0
当期経常外増減額				0	0			0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)				1,396,116	1,275,955			120,161
他会計振替額				0	0			0
一般正味財産期首残高				15,189,305	13,913,350			1,275,955
一般正味財産期末残高				16,585,421	15,189,305			1,396,116
Ⅲ 正味財産期末残高				16,585,421	15,189,305			1,396,116

正味財産増減計算内訳書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計	収 益 事 業 等 会 計	法 人 会 計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産利息収入	94	0	92	186
③ 受取入会金				
入会金	15,000	0	15,000	30,000
④ 受取会費	4,962,500	0	4,962,500	9,925,000
正会員	4,262,500	0	4,262,500	8,525,000
10,000円×41会員	205,000	0	205,000	410,000
30,000円×40会員	600,000	0	600,000	1,200,000
55,000円×15会員	412,500	0	412,500	825,000
80,000円×35会員	1,400,000	0	1,400,000	2,800,000
105,000円×13会員	682,500	0	682,500	1,365,000
130,000円×5会員	325,000	0	325,000	650,000
155,000円×8会員	620,000	0	620,000	1,240,000
新規会員×3会員	17,500	0	17,500	35,000
計160会員				
賛助会員会費	700,000	0	700,000	1,400,000
100,000円×10会員	500,000	0	500,000	1,000,000
200,000円×2会員	200,000	0	200,000	400,000
計12会員				
⑤ 受取補助金	700,000	0	0	700,000
令和4年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	0	0	200,000
第41回宮崎銀行ふるさと振興助成事業助成金	500,000	0	0	500,000
⑥ 受取負担金	0	0	469,000	469,000
新年大会懇談会負担金	0	0	469,000	469,000
⑦ 事業収入				
知財総合支援窓口運営業務	29,707,003	0	0	29,707,003
⑧ 雑収益	15,029	0	17,223	32,252
経常収益計	35,399,626	0	5,463,815	40,863,441

正味財産増減計算内訳書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計	収 益 事 業 等 会 計	法 人 会 計	合 計
(2) 経常費用				
① 事業費	18,164,906	0	1,559,229	19,724,135
給料手当	9,661,335		0	9,661,335
賃金	904,950		0	904,950
福利厚生費	1,573,412		0	1,573,412
表彰費	30,760		0	30,760
旅費交通費	1,207,857		70,260	1,278,117
通信運搬費	502,787		52,712	555,499
消耗品費	630,752		0	630,752
印刷製本費	227,577		88,000	315,577
会議費	130,595		565,710	696,305
賃借料	1,291,075		400,800	1,691,875
支払負担金	0		224,000	224,000
広告料	542,500		0	542,500
支払利息	22,286		0	22,286
租税公課	1,350,400		23,500	1,373,900
雑費	88,620		134,247	222,867
② 管理費	16,557,231	0	3,185,959	19,743,190
給料手当	13,124,681		1,945,001	15,069,682
福利厚生費	1,651,701		436,247	2,087,948
退職金掛金	172,800		115,200	288,000
退職金	0		0	0
旅費交通費	71,587		30,680	102,267
通信運搬費	195,995		83,999	279,994
消耗品費	273,747		117,324	391,071
印刷製本費	187,033		80,157	267,190
諸謝金	37,388		16,023	53,411
賃借料	728,957		312,411	1,041,368
広告料	0		0	0
支払利息	0		0	0
租税公課	600		600	1,200
雑費	112,742		48,317	161,059
公益目的事業費振替額	0			0
経常費用計	34,722,137	0	4,745,188	39,467,325
	0			
当期経常増減額	677,489	0	718,627	1,396,116
2. 経常外増減の部	0			
(1) 経常外収益	0			
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	677,489	0	718,627	1,396,116
他会計振替額	11,157,887		△11,157,887	0
一般正味財産期首残高	1,690,802		13,498,503	15,189,305
一般正味財産期末残高	13,526,178	0	3,059,243	16,585,421
Ⅲ 正味財産期末残高	13,526,178	0	3,059,243	16,585,421

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項なし

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、定額法を採用している。

(2) リース取引の処理方法

通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当事項なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	9,430,000	30,000	0	9,460,000
小計	9,430,000	30,000	0	9,460,000
特定資産	0	0	0	0
委員会等活性化積立資産	0	677,489	0	677,489
小計	0	677,489	0	677,489
合計	9,430,000	707,489	0	10,137,489

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	9,460,000	(0)	(9,460,000)	—
小計	9,460,000	(0)	(9,460,000)	—
特定資産				
委員会等活性化積立資産	677,489	(0)	(677,489)	—
小計	677,489	(0)	(677,489)	—
合計	10,137,489	(0)	(10,137,489)	—

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	備考
プロジェクター	135,975	135,974	1	
合計	135,975	135,974	1	

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
令和4年度指導団体助成金	鹿児島市	0	200,000	200,000	0	—
第41回宮崎銀行ふるさと振 興助成事業助成金	株式会社宮崎銀行	0	500,000	0	500,000	特定資産- 委員会等活性化積立資産
合計		0	700,000	200,000	500,000	—

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
「財務諸表に対する注記」に記載
2. 引当金の明細
引当金なし

(4)

財産目録
令和5年3月31日

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・数量等	使用目的等	金額
現金預金		鹿児島銀行本店No. 1350394	運転資金	1,737,647
		鹿児島銀行本店No. 3087965 (知財)	運転資金	3,524,242
		南日本銀行本店No. 484160	運転資金	424,697
		鹿児島銀行 本店 No. 3170092	運転資金	0
		鹿児島銀行 本店 No. 1681505	運転資金	0
			小計	5,686,586
未収金	受取会費	令和3・4年度会費		175,000
	事業収入	知財総合支援窓口運営業務		5,361,989
	労働保険料	R4年度確定労働保険料差額		6,066
			小計	5,543,055
流動資産合計				11,229,641
基本財産	定期預金	鹿児島銀行 本店①	公益目的及び管理目的としての 共有財産 ・公益目的82.2% ・管理目的17.8%	3,460,000
		鹿児島銀行 本店②		3,000,000
		鹿児島相互信用金庫 本店		3,000,000
			小計	9,460,000
特定資産	普通預金	鹿児島銀行本店No. 1350394	委員会等活性化積立資産	677,489
			小計	677,489
その他固定資産	什器備品	プロジェクター 1 台	公益目的及び管理目的としての 共有財産 ・公益目的83% ・管理目的17%	1
		電話加入権		72,800
	電話加入権	099-225-8012		
		他 4 回線		
			小計	72,801
固定資産合計				10,210,290
資産の部 合計				21,439,931
短期借入金	鹿児島銀行	運転資金借入		3,500,000
未払金	3月分社会保険料	健康保険・厚生年金・こども手当拠出金		210,177
	通信料	インターネット、電話回線使用料等		42,876
	消耗品費	(株)久永、富士ゼロックス鹿児島		98,654
	会議費	令和4年度第4回理事会懇談会費		5,500
	賃借料	令和4年度第4回理事会会場代		40,000
	雑費	振込料等		770
			小計	397,977
預り金	預り金	3月分社会保険料	職員分預り	205,533
		令和4年度第4回理事会	懇談会費預かり金	104,500
			小計	310,033
未払消費税等	鹿児島税務署	R4年度消費税及び地方消費税		646,500
流動負債合計				4,854,510
固定負債合計				0
負債の部 合計				4,854,510
正味財産額				16,585,421
負債及び正味財産合計				21,439,931

監 査 報 告 書

令和5年5月8日

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部

会長 岩 元 正 孝 殿

監事

餅田淳一



監事

谷口克也



私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受けるとともに、重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書、財産目録は、法令及び定款に従い、当倶楽部の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、当倶楽部の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示していると認めます。

【第2号議案】 事務所の移転について

背景と方向性

- ・ 令和5年2月に、県は、県産業会館を「廃止する」旨の方向性を示した。
- ・ 会館が築50年を越え老朽化し、耐震基準も満たしていないため、県中小企業団体中央会や県商工会連合会から、県に対して、県有地において中小企業会館建設の要請があったことに伴うものであり、完成のあかつきには、県産業会館から全ての団体が移転する必要があるとされた。
- ・ 中小企業会館は、令和6年度末に完成見込みとしており、当倶楽部はそれまでに移転する必要がある。
- ・ 特許庁から委託を受けている「知財総合支援窓口」事業は1年おきに入札を踏まえて決定されている。次は、令和6年1月末頃、令和6年度～令和7年度の委託が決定する見込みであり、最終的に当該結果も踏まえ、移転を行う。

参考

(場所選定の考え方)

- ① 現在の家賃等の負担額と大きく変わらないこと。
- ② 知財の窓口相談業務に対応するプライバシーを確保できる個室があること。
- ③ プラザ等を開催できる安価で利便性の良い会議室が近くにあること。
- ④ 公共交通機関が十分にある、又は駐車場が確保されていること。

(移転先候補(R5.3時点))

- ・ 新屋敷町 県住宅供給公社ビル (新屋敷町16-205) など

【報告事項】 令和5年度事業計画及び収支予算について

1 基本方針

我が国は、本格的な人口減少や危機的な少子化の進行、経済のグローバル化や急速な技術革新の進展、デジタル化やカーボンニュートラル、そして新型コロナウイルス感染症の収束へ向けた動きなどかつてない大きな変革期の中にある。

また、国連が提唱する SDGs(持続可能な開発目標)には多くの企業が賛同し、これに対応しようという取組が盛んになっている。企業にとっての SDGs は、いまだ開拓されていない巨大な市場を獲得するための大きな「機会」となり得る。

工業倶楽部は、製造業の競争力の強化及び本県の基幹産業である農業、水産業との連携や、将来を担う新産業の創出に取り組み、今後も様々な団体との協働を深め、異業種交流を深化させ、パートナーシップによるビジネスチャンスを拡大するために、デジタル技術を活用し、DX を推進し、大きく変化する経営環境や状況に対応できる企業の成長に貢献することを目指す。

特に、ChatGPT は、OpenAI が提供する「次世代大規模言語モデル」としてメディアにも度々登場する話題の AI で、2023 年 3 月には最新の GPT-4 が公開され、より正確に高い精度で対話ができるとして、マイクロソフトをはじめ世界的に注目を集めている。今後、同モデルの活用は必須となることから、開発動向を踏まえて、啓発活動を行う。

また、今後の成長が見込まれる情報通信関連や環境・新エネルギー、ロボット関連分野など、企業が新たな価値を持つ事業展開への支援を行う。また、新たなビジネスチャンスを獲得するためのツールとして SDGs が注目を集めており、自社の企業価値向上や競争力強化を実現する手法を学ぶセミナー等を開催する。

さらに、知的財産権について中小企業等が抱える悩みや課題を一元的に受け付け、知財専門家や支援機関と協働して解決に導く「知財総合支援窓口運營業務」に取り組む。

平成2年以降事務所を設置してきた県産業会館は、令和6年度末に廃止する方針が示された。そのため、事務所の移転に向けた取組を進める。

公益社団法人として、会員外の企業・団体等も含め、国及び県並びに鹿児島大学、県工業技術センター、(公財) かがしま産業支援センター等との連携を一段と強化して、当倶楽部の活動が県内の産業振興に寄与するよう積極的に各種施策を展開する。

2 主要事業

(活性化事業)

- | | |
|-------------------|------------|
| ① 企業変革力強化に対する提案等 | 【特命委員会】 |
| ② 知財を活用した産業活性化の推進 | 〃 |
| ③ SDGs に関連する事業の推進 | 〃 |
| ④ 新規会員の加入促進 | 【総務・広報委員会】 |

(異業種交流事業)

① 時代を先取りする異業種交流事業の実施【事業委員会】

- ・企業ニーズと大学等のシーズを活用した自社製品の開発や販路拡大等の促進による経営基盤の強化
- ・医療、農林水産、環境、エネルギー、観光等多分野にまたがる異業種交流を促進し、事業拡大や新製品開発を促進

② 県外の工業団体等との交流促進【渉外委員会】

- ・九州内の工業団体等の交流による情報交換及び連携
- ・鹿児島大学、かごしま産業支援センター、県工業技術センター、二水会との連携
- ・県外産業界等との交流による会員の事業拡大、資質向上の促進

③ プラザ、部会、研究会、地区プラザの活性化推進【事業委員会】

④ 農業、水産業と連携した産業育成に向けての研究 //

⑤ IoT や AI などデジタル技術等を活用した新たな事業展開の研究 //

(産・学・官連携事業)

① 鹿大等との交流連携の推進

- ・企業のニーズと大学等のシーズのマッチングによる事業化の支援、推進【渉外委員会】
- ・「食と健康に関するシンポジウム」の開催【特命委員会】

② 若者就職活動に関するサポート活動の強化【特命委員会】

- ・各種インターンシップの支援

③ 会員大学教授・名誉教授等による相談対応【渉外委員会】

(事務所の移転に向けた取組)

【総務・広報委員会】

(広報・デザイン開発事業)

工業倶楽部のイメージアップ及び知名度拡大

【総務・広報委員会】

- ・県、県議会、マスコミ等との交流推進
- ・会員企業の活動や実績等の情報発信に努め、HP等の活用による事業連携及び会員増強並びに知名度アップ
- ・会報の配布先の拡大

3 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当年度における借り入れ予定 知財総合支援窓口設置に係る短期借入

- ・借入限度額 3200 万円(概算払を活用し、借入額の縮減に努める)

(2) 設備投資の見込みについて

なし

正 味 財 産 増 減 予 算 書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	188	188	0
② 特定資産運用収入			
特定資産利息収入	0	0	0
③ 受取入会金			
入会金	90,000	90,000	0
④ 受取会費	10,075,000	10,155,000	△ 80,000
正会員	8,675,000	8,755,000	△ 80,000
10,000円×43会員	430,000	460,000	△ 30,000
30,000円×43会員	1,290,000	1,260,000	30,000
55,000円×14会員	770,000	825,000	△ 55,000
80,000円×35会員	2,800,000	2,800,000	0
105,000円×13会員	1,365,000	1,365,000	0
130,000円×6会員	780,000	650,000	130,000
155,000円×8会員	1,240,000	1,395,000	△ 155,000
計162会員			
賛助会員会費	1,400,000	1,400,000	0
100,000円×10会員	1,000,000	1,000,000	0
200,000円×2会員	400,000	400,000	0
計12会員			
⑤ 受取補助金			
令和5年度指導団体助成金（鹿児島市）	200,000	200,000	0
⑥ 受取負担金	1,350,000	1,260,000	90,000
総会懇談会負担金	675,000	630,000	45,000
新年大会懇談会負担金	675,000	630,000	45,000
⑦ 事業収入			
知財総合支援窓口運営業務	30,294,895	30,143,306	151,589
⑧ 雑収益	50,000	50,000	0
受取利息等収入	50,000	50,000	0
			0
経常収益計	42,060,083	41,898,494	161,589

正 味 財 産 増 減 予 算 書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
① 事業費	22,048,545	21,678,301	370,244
給 料 手 当	9,980,274	10,066,562	△ 86,288
賃 金	1,435,896	1,429,996	5,900
福 利 厚 生 費	1,638,246	1,612,222	26,024
表 彰 費	60,000	60,000	0
旅 費 交 通 費	1,300,378	1,224,378	76,000
通 信 運 搬 費	849,867	809,587	40,280
消 耗 品 費	443,483	459,960	△ 16,477
印 刷 製 本 費	343,980	333,980	10,000
会 議 費	1,601,000	1,562,000	39,000
諸 謝 金	20,000	0	20,000
賃 借 料	1,929,521	1,710,516	219,005
支 払 負 担 金	234,000	234,000	0
広 告 料	570,000	550,000	20,000
支 払 利 息	100,000	100,000	0
租 税 公 課	1,399,900	1,393,100	6,800
雑 費	142,000	132,000	10,000
② 管理費	19,861,153	19,908,993	△ 47,840
給 料 手 当	15,066,276	15,139,688	△ 73,412
福 利 厚 生 費	2,175,877	2,188,065	△ 12,188
退 職 金 掛 金	288,000	288,000	0
賃 金	0	5,900	△ 5,900
旅 費 交 通 費	66,000	73,000	△ 7,000
通 信 運 搬 費	282,000	290,000	△ 8,000
消 耗 品 費	382,000	341,000	41,000
印 刷 製 本 費	332,000	353,340	△ 21,340
諸 謝 金	40,000	0	40,000
賃 借 料	1,041,000	1,047,000	△ 6,000
広 告 料	0	0	0
租 税 公 課	2,000	2,000	0
雑 費	186,000	181,000	5,000
公益目的事業費振替額			
経常費用計	41,909,698	41,587,294	322,404
当期経常増減額	150,385	311,200	△ 160,815
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益		0	
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用		0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	150,385	311,200	△ 160,815
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	150,385		
一般正味財産期首残高	16,585,421	15,189,305	1,396,116
一般正味財産期末残高	16,735,806	15,500,505	1,235,301
Ⅲ 正味財産期末残高	16,735,806	15,500,505	1,235,301

正味財産増減予算内訳書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	94	0	94	188
② 特定資産運用収入				
特定資産利息収入	0	0	0	0
③ 受取入会金				
入会金	45,000	0	45,000	90,000
④ 受取会費	5,037,500	0	5,037,500	10,075,000
正会員	4,337,500	0	4,337,500	8,675,000
10,000円×43会員	215,000	0	215,000	430,000
30,000円×43会員	645,000	0	645,000	1,290,000
55,000円×14会員	385,000	0	385,000	770,000
80,000円×35会員	1,400,000	0	1,400,000	2,800,000
105,000円×13会員	682,500	0	682,500	1,365,000
130,000円×6会員	390,000	0	390,000	780,000
155,000円×8会員	620,000	0	620,000	1,240,000
計162会員				
賛助会員会費	700,000	0	700,000	1,400,000
100,000円×10会員	500,000	0	500,000	1,000,000
200,000円×2会員	200,000	0	200,000	400,000
計12会員				
⑤ 受取補助金				
令和5年度指導団体助成金（鹿児島市）	200,000	0	0	200,000
⑥ 受取負担金	0	0	1,350,000	1,350,000
総会懇談会負担金	0	0	675,000	675,000
新年大会懇談会負担金	0	0	675,000	675,000
⑦ 事業収入	30,294,895	0	0	30,294,895
⑧ 雑収益	25,000	0	25,000	50,000
受取利息等収入	25,000	0	25,000	50,000
経常収益計	35,602,489	0	6,457,594	42,060,083

正味財産増減予算内訳書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収 益 事 業 等 会 計	法 人 会 計	合 計
(2) 経常費用				
① 事業費	19,578,545	0	2,470,000	22,048,545
給料手当	9,980,274		0	9,980,274
賃金	1,435,896		0	1,435,896
福利厚生費	1,638,246		0	1,638,246
表彰費	60,000		0	60,000
旅費交通費	1,182,378		118,000	1,300,378
通信運搬費	829,867		20,000	849,867
消耗品費	443,483		0	443,483
印刷製本費	203,980		140,000	343,980
会議費	183,000		1,418,000	1,601,000
諸謝金	20,000		0	20,000
賃借料	1,544,521		385,000	1,929,521
支払負担金	0		234,000	234,000
広告料	570,000		0	570,000
支払利息	100,000		0	100,000
租税公課	1,376,900		23,000	1,399,900
雑費	10,000		132,000	142,000
② 管理費	16,031,155	0	3,829,998	19,861,153
給料手当	12,670,478		2,395,798	15,066,276
福利厚生費	1,557,877		618,000	2,175,877
退職金掛金	172,800		115,200	288,000
賃金	0		0	0
旅費交通費	46,000		20,000	66,000
通信運搬費	197,000		85,000	282,000
消耗品費	267,000		115,000	382,000
印刷製本費	232,000		100,000	332,000
諸謝金	28,000		12,000	40,000
賃借料	729,000		312,000	1,041,000
広告料	0		0	0
租税公課	1,000		1,000	2,000
雑費	130,000		56,000	186,000
公益目的事業費振替額				
経常費用計	35,609,700	0	6,299,998	41,909,698
当期経常増減額	-7,211	0	157,596	150,385
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	-7,211	0	157,596	150,385
他会計振替額	7,211		-7,211	0
当期一般正味財産増減額	0		150,385	150,385
一般正味財産期首残高	13,526,178		3,059,243	16,585,421
一般正味財産期末残高	13,526,178	0	3,209,628	16,735,806
Ⅲ 正味財産期末残高	13,526,178	0	3,209,628	16,735,806

◇ 講 演

演 題：100年に一度の混乱の中で鹿児島が先駆けるには

講 師：(株)日本政策投資銀行 南九州支店長

森 正 則 氏



(プロフィール)

平成 10 年 04 月 (株)日本興業銀行 入行

平成 16 年 08 月 日本政策投資銀行 入行
(平成 20 年 株式会社化)

運輸・交通分野(特に航空)、小売り・食品分野を担当

平成 29 年 07 月 (株)ソラシドエア(出向)

令和 元年 07 月 (株)日本政策投資銀行

業務企画部イノベーション推進室 課長

令和 04 年 06 月 同 南九州支店長